

OECD・教育研究革新センター編著「創造性と批判的思考 ―学校で学び教えることの意味はなにか」
明石書店、2023年2月7日刊を読む

第1章 創造性と批判的思考の育成と評価：プロジェクトの概観

第1節 創造性と批判的思考はなぜ重要なのか

1. (1) ①労働市場において重要性を増す
 - ②個人の生活や市民生活においても貢献
 - (2) ①経済はイノベーションによって推進されている
 - ・人々はイノベーションへの貢献と、イノベーションの吸収することを求められる
 - ②経済はかなりの部分で人工知能（AI）とロボット工学による自動化が予測される
 - ③創造性や批判的思考などの自動化が困難なスキルが価値を増す
 - (3) ①創造性と批判的思考は、人々のウェルビーイングと民主主義社会の機能を向上させる
 - ②誤った情報源がいたるところで増殖する社会にあって、批判的思考は、さまざまな領域で必要性を増す
-
2. イノベーションのためのスキル
 - (1) ①「人はイノベーションを起こす力を与えられるべきである」
 - ②「あらゆる分野の高等教育修了者が労働市場においてイノベーションに貢献している」
 - ③「特に、製品やテクノロジーに関しては、エンジニア、科学者、数学者がイノベーション過程に大きく貢献を果たしている」
 - (2) 「イノベーターと非イノベーター」を最もよく区分するスキルとは
 - ①「創造性」：「新たな考えや解決方法を思いつくこと」
 - ②「批判的思考」：「さまざまな考えに疑問をもつこと」
 - ③「人前で考えを提示する能力」：「コミュニケーション」
 - ④「機会に対する鋭敏さ」：「起業家精神」
 - ⑤「分析的思考」
 - ⑥「活動を調整する能力」
 - ⑦「新たな知識を獲得する能力」
 - (3) 「イノベーター」とは
 - ①「イノベーションの吸収の最前線にあって、ある組織においてイノベーション過程に直接貢献する専門的な仕事に就く人」
 - ②「イノベーターの仕事における非常に重要なスキルとして、非イノベーターの
 - 4倍の「創造性」
 - 3倍の「批判的思考能力」

3. デジタル時代のためのスキル

(1) 人々の仕事の未来 (予測)

- ┌ 仕事の 14 % は自動化
- └ 32 % の仕事が大きく変化

(2) 仕事で最も必要とされるスキル (2018 年世界経済フォーラムのアンケート)

- ① 「分析的思考とイノベーション」
- ② 「複雑な問題解決」
- ③ 「批判的思考」
- ④ 「創造性」

(3) 「創造性と批判的思考は、今後十数年間、人々の職業生活において重要性を増し、労働市場における需要がさらに高まる」

4. 個人と社会のウェルビーイングと民主主義社会のために創造性と批判的思考は貢献する

(1) 「創造性」は、集中とウェルビーイングの感覚を生み出す

- ① 「創造性」「課題への挑戦」は「フロー」の状態を発生する
- ② 「フロー」とは、「ほかの何も目に入らないほどある活動に専念する状態」
- ③ 「その経験は非常に楽しく、人はそのためだけに多大な犠牲を払ってもそれを続けようとする状態」を指す

(2) 「批判的思考」は、

- ① 現代の民主主義の機能を支えるもの
- ② 「幸せなよい生活を送る手段」、「よい統治に向かう手段」(古代哲学の伝統)
- ③ 現代民主主義では、「市民であることの不可欠の構成要素として批判的思考を行使することが期待されている」
 - ・ 「メディアや他の権威が示す論拠の質を天秤にかけ、適切な根拠に基づいて、自分の意見に従って投票する能力」が期待されている
 - ・ 複数の事実・見解・理論・想像が相争うデジタル世界では、批判的思考の重要性はさらに高まっている

第3節 創造性と批判的思考の理解を深める

1. (1) 創造性と批判的思考は別物ではあるが、互いに関連する高次の認知スキルである

(2) 共通点 どちらも

- ① 多大な精神的努力とエネルギーを要求
 - ② 認知的負荷が大きい
- 類似する思考課題を含む —

(3) ただし、目指すものが異なる

- ① 「創造性」「目新しく適切な考えや生産物を生み出すこと」を目指す
- ② 「批判的思考」「言説や考えや理論を

○代替可能な説明や解決方法と照らし合わせて、注意深く評価し、判断して、何らかの行動に向けて、自分なりの優れた立場に到達することを目指す

2. 「創造性」とは何か：「定義」

(1) 「創造性」とは、「目新しく（独創的な、予期しない）かつ、適切な（有用な、課題の制約に応じた）作品を生み出す能力である」

(2) 「創造性」とは、「目新しく、適用性のあるものの生産にいたる一連の思考と行動である」

(3) 「一連の思考と行動」とは、〈創造にいたる2つの過程〉

① 「拡散的思考」：「多くのアイデアを生み出す」

② 「収束的思考」：「よいアイデアを選択して発展させる」（ギルフォード）

(4) 創造性の4つの過程（トールンス）

① 「流暢性」：「関連する多くの考えを持つ」

② 「柔軟性」：「さまざまなタイプの関連する考えを持つ」

③ 「独創性」：「統計的にみて新しい考えを持つ」

④ 「綿密性」：「考えを洗練することができる」

3. 「批判的思考」とは何か：「定義」

(1) 「批判的思考」のねらい：「発問と視点取得の過程を介して、言説や理論やアイデアの長所や適切さを評価すること」

○通常、様々な立場の検証と評価を伴う

(2) ① 「批判的思考」とは、「注意深い目標志向の思考」（ヒッチコック）

② 「批判的思考」とは、「考えや行動の決定を焦点とした合理的な省察的思考」（エニス）

③ 「論理的あるいは合理的な思考が強調」

・「推論する能力」

・「論拠や証拠を評価する能力」

・「健全な議論を介して、問題と関連する適切な解決方法に到達する能力」

〈「批評」と「視点取得」〉

┌ 「複数の視点の認識」：「与えられた視点に発問する能力」

└ 「他の視点より優れているように思われても、どの視点にも前提（限界）が存在することの認識」

<コメント>

AI(人工知能)やIoT(もののインターネット)の時代に欠かせないものがそれら「読解力」と、それらに指示や方向性を与える「創造力」「批判的精神」ではどのように「創造力」「批判的精神」を教育の場で育てたらよいか。その具体的手法がOECDの7年あまりの研究の成果として丁寧親切に示されている本書ほど、現代の教育で役立つものはない。是非、お読みください。

2023年3月21日(火)林明夫